

## 東村山稲門会ニュース第115号

平成18年10月7日発行

発行責任者:山下 邦康 編 集 者:伊藤 友己

042-398-1352

## 11月25日(土)総会日程決まる! あの早稲田の歌声がやってくる!!



ダークダックス、デュークエイセスそしてボニージャックス。 往年の男性コーラス、早稲田の歌声が東村山にやってきます。

会員の皆様に関しては、ポスター、チラシとは申し込み方法が違って 居ります。 日程、当日の内容に関しては同封の資料をご参照下さい。 皆様のお力で10周年事業を成功させましょう!

# 会からのお知らせ

#### ○11月度定例役員会

11月4日(土) 13:30~16:30

ふるさと歴史館・研修室

総会等の準備がありますので、お手伝い頂ける会員の方がおら れましたら、是非ご出席下さい。

○大学関連会合・他稲門会への出席

井垣、小亀、小野、當間、岡田 代議員会 9月26日 (火) 早大国際会議場 東京三多摩支部会長・事務局長会議

> 10月 8日(日) 調布クレストンホテル 山下、小亀

東京三多摩支部大会

11月 3日(金) 町田・ラポール千寿閣 山下、三宅、小亀 小野、常間 清瀬稲門会総会

> 10月29日(日) 清瀬生涯学習センター 山下 大西

○ 役員の改選について

今年は役員の改選期にあたり、役員会で新役員の(案)を10月7日の役員会で議題として 提案し、決定する予定となっていますが、会員の皆様の中で、是非幹事になって、新しい同好 会を作りたいという方や、幹事になってお手伝い頂ける方がおられましたら、事務局までお申 し出下さい。多くの方の参加を期待しています。役員会では12月の役員会で正式決定し、1 1月25日の総会で承認を得たうえで、新役員が発足することになります。

#### ○ホームカミングデー・稲門祭に是非ご参加下さい

10月22日(日)にホームカミングデー・ならびに稲門祭が行われます。青春の杜、想い 出の母校へ是非お出でになり、秋の一日をお楽しみ下さい。福引き抽選で車が当たるかも知れ ません。森元総理の講演など多数の催し物が予定されています。風間、小亀が実行委員で参加 しています。

#### ○11月度「お誕生会」について

11月度の「お誕生会」は昨年同様、25日の総会後の懇親会の席で行います。総会及び懇 親会への出欠葉書は、必ず出していただく様お願いします。葉書には誕生月再確認の為、生年 月日を記入する欄がありますので、協力願います。

既に誕生月をご連絡いただいている方々で、11月の該当者は下記の皆様です。(敬称略)是非 ご出席下さい。

粟島・石川・小亀輝・斉藤・佐藤守・中尾・野村保

- ◎お誕生会が1年を経過したところで、担当幹事が10月より交代になりました。
- 芦田均 久米川町1-18-11 TEL393-7525 新担当幹事

従来同様、よろしくお願いします。

○会費(平成17年度)納入有り難うございました。

野村茂樹、谷城長治、島野健太郎

会員209名中208名の方から会費の納入を頂きました。

ご協力感謝申し上げます。

○平成18年度(平成18年10月~平成19年9月)年会費納入のお願い

10月から、新年度に入りましたので、会費の納入をよろしくお願い致します。 同封の振り込み用紙を御利用下さい。総会受付時の直接納入でも結構です。 会計

できましたら、年内の納入をお願い致します。

## 訃報

当会会員大野恵子さん(S46文)のご母堂トシコ殿(85歳)は9月17日逝去なされ ました。心からご冥福をお祈り致します。

(なお 会則より生花ならびに弔電をお送り致しました)

#### ○「早稲田祭2006」に対する寄付金のお願い

革マル派の支配による早稲田祭は10年程前に中止されましたが、4年前から有志学生により新たな学園祭が行われています。今年も「早稲田祭2006」が11月4日(土)5日(日)に行われます。この早稲田祭は大学からの補助金を受けずに運営しており、資金的に厳しい状況にあり、運営スタッフの学生から先輩の支援をもとめてきています。昨年も60万円以上の寄付を頂いたそうです。会員の皆様のなかでご支援頂ける方がおられましたら下記の要領でお願い致します。

一口 5千円

振込先 みずほ銀行 早稲田支店

口座名義 早稲田祭2006運営スタッフ

口座番号 2150459

振り込み人の名前の前に 東村山稲門会 ○○○○ (氏名) とお書き下さい

この件についての問い合わせは運営スタッフの西口さん(090-5735-1063)までお願いします。

# 第47回東村山雑学講座報告 「笑いは百薬の長」

平成18年9月2日(土) ふるさと歴史館視聴覚室

講師 松井寿一氏 (寅さんファンクラブ会長)

47回雑学講座は講演と言うより公演でした。60名を超す聴講者は、講師の松井寿一氏の間断なく飛び出す「笑いのタネ」に魅了され、笑いの効用を満喫しました。紳士淑女の面目打ち捨て、拍手喝采、大哄笑の渦中に正に百薬を得た気分に浸って、実に楽しく、おかしさの笑い涙を流して過ごした充実の90分間でした。胃がん手術後12年経る今日、「笑い語り」創作者であり、また笑文芸集団の有遊会一員として独自に作り上げた「笑いの玉手箱」を開陳していただきました。全国に笑いの効用を伝道しながら自らもガンを友に生きるガン克服実践者としての強靭さと優しさとを学びました。

誌面の関係で全てを紹介できませんが、以下に当日の「笑い」の幾つかを紹介します。

- ・雑学講座が47回を迎えることで、開口一番に47という数字に関わる話「ところで47人の赤穂浪士は全員が「入歯」だったことを皆さんご存知ですか?」 「この話が義士(義歯)銘々伝といわれていることは有名じゃないですか」
- ・吉良上野介の墓を改変することで奔走し、檀家から賛同を得た菩提寺の坊さんの話 「安心した坊さんの枕もとに上野介が現れ、言ったそうですよ。なんと言ったかって?」 「大きな石でお墓をつくられることはもうこりごりだよ」
- 「今日も残暑厳しいですね。猛暑と言われるようになったわけを皆さんご存知ですか」 「熱中症のために牛が倒れたことに因るものです。「モウ暑」と言うじゃないですか」
- ・ 松井氏の講演半ばで帽子を被って入室し、一番前に席を獲った男性あり。 「お待ちしておりました。今日は帽子を被って来られましたですね」「ハイ 帽子を」 「老化防止(帽子)と言われますからね。」
- ・早稲田大学の入学試験問題が売られ、また盗まれた二つの不祥事件の話「早大の入試問題だから高く売られたと誰しも想像したが、意外と安く一万円とか二万円だったと伝えられた。学部が小額(商学)部だったからだ。」

「試験問題が盗まれたことがある。なんたるていたらくと激昂した校友の一人が思わず叫んだ「校歌の題名を変えろ! 都の西北ではなく、都の盗難(東南)だ!」

「笑いの分類」を①快い笑い・・楽しい感情の状態になった時の笑い、②社交上の笑い・・コミュニケーション手段として重要な役割を果す笑い、③緊張緩和の笑い・・続いていた緊張(強い緊張、弱い緊張)がとれた時に表れる笑いの三定説があること。また笑いの効用としては

① 血液の循環を良くする。②新陳代謝を促進する。③腹式呼吸を促進し、腹筋の運動量が増え、内臓マッサージ効果が生れる。④自分と周囲を陽気にさせる。⑤免疫機能を活発化させる。⑥快的ホルモン(β—エンドルフィン)が分泌され、癌の殺し屋と言われるナチュラルキラー細胞の活性値が上昇する。⑦前頭葉を刺激し、脳の機能を高める(特に右脳が活発になる)⑧心が和む。⑨ストレスを解消する。⑩人間関係の潤滑油となる。ことも説かれました。

最後に「皆さんの顔がほころび、心明るく、心なごみ、しみじみとする環境や交友関係を作れることを祈ります」の挨拶で講演が閉じられました。 (文責 岡田一郎)

## 同好会だより

### テニス同好会 世話人 當間昭治 TEL 391-6023



9月の例会は17日(日)久米川コートで実施、参加者は當間、當間の長女夫婦に甥(慶大4年)、今にも降りだしそうな天気の為、4名での会になってしまいました。

ベストシーズンの10月は是非好天を期待し、多くの皆様の参加をお待ちしています。11月と合わせて予定をご案内します。

記

日 時 10月14日(土)午前9時~午前11時

11月 3日(祭)午前11時~午後1時

場 所 10/14は運動公園コートC

11/3は久米川コート3

## ゴルフ同好会

#### 世話人 堀田秀夫 090-8339-7179

#### @第20回東村山稲門会ゴルフコンペ記念大会成績発表



9月10日(日)第20回の記念大会を西武園ゴルフ場で20名のご 参加をいただき盛大に行われました。成績は以下の通りです。 これからも皆様多数のご参加をお待ちしております。奥様、ご子息のご 参加大歓迎であります。

優勝 益田 昂 準優勝 相馬信一 第三位 田島隆夫

#### @早大総長杯のお知らせ

恒例になりました総長杯ゴルフ大会は以下のようにおこなわれます。 参加希望の方は、<u>10月20日迄に 堀田の携帯までご連絡して下さい。</u> 皆様多数のご参加をお待ちしております。なお、参加者には詳細をはが きでお知らせします。

日 時 : 11月6日(月)

コース: おおむらさきゴルフクラブ

#### @忘年会ゴルフコンペ

これまで毎年年越しのゴルフ大会を開いておりますが、今回は月森様の お世話により、**西武園ゴルフ場**で行います。

日 時:12月8日(金)

集合時間 : 8時30分

スタート : インコース 9:17から3組

費 用 : 15,000円程度(キャディ・昼食含む)

パーティ費その他 : 3,000円

競 技 : 18ホール 新ペリア方式

参加希望の方は、早めに堀田までお聞かせ下さい。 090-8339-7179

第115号 同好会だより

## 園芸の会

#### 世話人 三 宅 良 太 TEL 394-5298

今年第6回目の園芸の会を下記の日程で催します。今回は秋蒔き草花の苗の交換会です。 苗のご用意の有る無しに拘わらず大勢のご参加をお待ち致します。

記

日 時:10月29日(日)午後2時~4時

場所:東村山市市民センター別館(東村山市役所前)

2階第4会議室。(場所が何時もと違いますのでご注意下さい。)



## カラオケ同好会

#### 世話人 内藤 慎 TEL 393-5071



9月例会を9月2日ドレミで行いました。参加は岡田、奥山、 高鷲、松永、山下、内藤の各氏6名でした。2ヶ月ぶりの例会であ り、皆さん張り切って歌を楽しみました。これから秋の夜長が楽し めると思います。多数のご参加をお待ちいたします。

今後の予定は

10月7日(土) 19:00 ドレミ 11月4日(土) 19:00 ドレミ

12月には楽しい忘年会を企画したいと考えております。

12月9日(十)を予定しております。

(内藤記)

## 囲基同好会



世話人 野村保夫 高鷲 近

TEL 394-0417 394-2336

- ●10月例会のお知らせ○
- ●10月例会は、<u>10月21日(土)午後1時</u>から、第6会議室で新年度のスタートを切ります。なお前回の夏季大会の結果、A/Bリーグ優勝の細渕、中川両氏と年間成績が優良だった久世氏が昇級されました。

## 麻雀同好会

世話人 小 野 智 TEL 391-9523 松 永 常 尚 332-5621

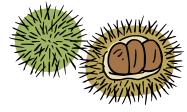


第36回大会を9月16日(土)マージャンMにて開催しました。 今回の参加者16名4卓の雀戦の結果は優勝土橋、準優勝内藤、他賞 金獲得者は、三宅、小亀、小野、當間、中川の各氏でした。

懇親会はいつもの如く小野世話人の名司会で賑やかに行われました。 次回大会は12月10日(日)に予定しています。

(松永記)

**俳句同好会(稲酔会)** 世話人 高杉修 391-8447 井垣和太 04-2924-2934



第28回稲酔会句会は、10月28日(土)午後1時から恩多ふれあいセンターで行います。

兼題は「木の実」です。深まりゆく秋に相応しい題で、秀句があつまるものと期待されます。投句参加の方は前日までに5句を世話人(井垣) 迄お寄せ下さい。

「稲酔会」も開始からまもなく5年が経ちますが、皆さんの勉強の成果として、大新聞の「俳壇」にみごと入選されるケースが出てきました。

八木竜湖さん、丸本北窓さんお二人の最近の入選句をご紹介します。

読売新聞「読売俳壇」 宇多喜代子 選 8月28日(月)

はちきれんばかりの金魚裏がへり (宍粟市) 八木勝利

朝日新聞「朝日俳壇」 長谷川 櫂 選 9月25日(月)

考ふることより覚めて鰯雲 (東村山市)三谷光彦

註: 八木勝利さんは 5回目の入選です。 三谷光彦は丸本聡明さんのペンネームです。 お二人とも「稲酔会」で俳句を始められました。

9月度「お誕生会」報告

Astri-

(稲雀記)

担当幹事:當間昭治

9月度のお誕生会は2日、例会場の久米川駅南口「丸藤」で行われました。 該当者7名のうち5名(市川暢、小久保、小山、月森、丸本)の方々が出席、当日の雑学講座の松 井講師に山下会長以下15名と合わせて21名、いつもながらの楽しい会となりました。

山下会長の挨拶、三宅副会長の乾杯に続き、5名全員の名前を入れてのハッピーバースデーの合唱、記念品の贈呈の後懇親会に移りました。

恒例のスピーチは1人5分間、まず登場されたのが小山さん、滝野川から荒川線で大学へ、そして母の実家である秋津町に居を構えたこと、俳句と囲碁で活躍の丸本さんは17年前に小平から東村山へ、月森さんは3年前に退職、歩く事と笑う事をモットーに人生を謳歌、近くに居る娘さん夫婦と仲良く交流していると話されました。

久し振りに行事参加の小久保さんは子息が早実出身、老人ホームで俳句の指導をしている事を披露、市川さんはボートでオリンピックの強化選手、ユーゴの世界選手権に出場した思い出と地元密着の生活振りを話され、最後に松井講師が「笑い」の効用で締めてくれました。

午後7時になったところで小亀副会長の音頭で校歌を3番まで熱唱、5名の方々、思い出作りのお役にたてたでしょうか。



#### 早稲田大学とわたし

上 素子

前号のこの欄に書かれた滝川桜子さんと同期なので、わたしも入学後45年になる。卒業後に大学の職員になり、一昨年退職するまで38年間勤務したので、なんと42年もの間を早稲田に通い続けたわけである。

生まれも育ちも大学に近い新宿区若松町で、父が早稲田の教員をしていたので家の客人は早稲田の教職員、学生、父母がほとんどという環境にあったため、進学するなら当然早稲田ということで、4人の姉達にならって同様に受験したのだった。(その後妹も早稲田に入り6人全員がOGになった。)正直にいえば、昭和30年代の大学は薄給で、子沢山の我が家では教職員子弟の学費免除制度の恩恵を受けられる早稲田以外へ進学させられる状況にはなかったのだ。

文学部英文学専修に入学したのが1961年、60年安保や早慶6連戦の翌年である。熱気にあふれていたであろう前年に比べれば静穏な大学だったのだろうが、中学高校を女子校ですごしたわたしは、授業中も教室の外で聞こえるアジ演説や乱立する建て看板に驚き、また、昼休みや放課後にずらっとベンチに並ぶ男子学生の多さに、大いに気後れしたものだった。

今でいう新勧(サークルの新入生勧誘)で早稲田スポーツ新聞会に入部した。大学新聞はすでに学生運動家の巣窟で、新聞作りはしたいがスポーツにはあまり関心がないまま入部したために1年間しか続かなかったが、今も早スポOB会に参加しているのは良い先輩・同級生に恵まれたご縁としかいいようがない。

文学部での勉強の記憶は、実はあまりない。ただ、ヴァージニア・ウルフという女流作家の作品をはじめて読んだ大沢実先生や、ギリシャ詩を原語で朗々と吟じられた引地正俊先生、テレビとは大違いに生真面目な五十嵐新次郎先生などなど、これぞ大学教授なのだと印象深かった先生方の授業は、いまだに鮮明に思い出される。

平均以下の学生だったが英文科を出たということで、卒業1年後に最初の就職先から大学本部の教務部外事課へ転職することになった。留学生の増加に伴い1963年ころ新設された課で、大卒女子の職員公募がなかった時代で始めは5年契約の嘱託だった。以来25年もの長い間、外事課と国際部とで早稲田だけでなく日本の大学の国際交流の草創期から発展期に関ることができ、私自身のキャリアとしては大変幸運なことだった。その後は、広報課を経て、教務部に戻り、奥島総長時代の大学改革にも末席ながら参画することができた。最後は全く未経験の人事部に移り、いわば知らぬが仏状態で大学年金改革=減額を手がけてしまったために大変な目にあうことになった。

退職後も早稲田でのつながりで興味深い仕事をいただき、子どものときから慣れ親しんだ早稲田大学が60歳半ばの今までも、いつでもわたしと一緒にあるのだと、改めて実感している。

## 俳 壇

朽 湖 薄 キ 秋 行正 虫施 血爺穂 富 聖 ャ晴 ぼバ士 設人 0 縁杉 澊 確 面と ラヤ 音 な ٧ 先に ٧ ゃ n O や常寂 끠 メル る友を思ひ 呼月 か 炎 木 を 萩ン嶺 に 過 ル 指 ŋ に 受 消だ 走面 び 脇 で間 を 山 鯊 埋 る 15 7 0 で な す た 夜 に 近 ゅ つ 白浮 箱は 光 Z 0 め る 敬は る る な 食 15 ح が 波ぶ 故 愛い 飴 に て 見 白 鉄 ん VI なり ば秋後 さ 煮 工 す 良ゆ 路 曼 て や 郷 ょ 込 鵬 や寂 ン 壜 や珠 秋 そ にの 後 0 む か 3 ち か ゼ 曼沙 L ぞ ŋ 入月 かび 煮 0 松 っ 爽 ち 0 0 気 井 丸 内 八 た 雲 3 秋 る 月 詰 ル 蓋 ろ 珠 7 葉 か ま 野 杖 大か 寒 本 杉 田 虫 沙 藤 な 木 0 垣 花 ŋ 草 分 な 北 愼 風 稲 竜 来あ 火 窓 亚 至 ٧ 湖 雀

第115号編集局だより



### 今月の予定(10月)

7日(土)10月度役員会 カラオケ同好会

14日(土)テニス同好会21日(土)囲碁同好会

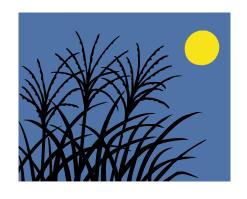
28日(土)俳句同好会

29日(日)園芸同好会

#### 11月の日程(前半)

3日(祭)テニス同好会 4日(土)役員会

カラオケ同好会 6日(月)ゴルフ同好会



### 編集局だより

編集局:小亀、伊藤

○スズムシも鳴き始め、秋の気配が漂ってきました。今年は昨日10月6日が仲秋の名月で、暦の関係で例年より遅い「十五夜」となりました。多くの日本の年中行事がそうであるように、この仲秋の名月を鑑賞する風習も中国から伝わったもので、奈良平安朝の華やかな月見の宴が当時の日記物語等に伺えます。庶民の間では月を神として崇め、特に農民は秋の収穫期にあたる仲秋の名月に新しい収穫物を供えて五穀豊穣を祝い、稔りを感謝する祭りとして発達しました。

今はこれらの風習も失われてしまいました。忙しい現代人にとって月をゆっくり眺める心の余裕がなくなってきたのかも知れません。今日は昔東村山の人達がやっていたように、一升ビンにススキをさして、月を愛でながら一杯やることにしましょう。

(小亀)

〇11月号の原稿締め切りは1次が10月21日、2次が10月28日です。 宜敷お願いいたします。

(伊藤)

## 東村山稲門会設立10周年イベント基金! 謝 謝 謝 目標150万円突破しました。!!!。 10月まで受け付け中

### 9月30日現在累計 1.540.000円 (85名+会員外2名)

ご芳名(前回以降受付順 敬称略)

森田茂夫(2口)、大内一男(3口)、石塚征雄(2口)、久保栄二(2口)、 大曽根文男(2口)、

前号訂正・・・お名前に誤りがありました。お詫びして訂正致します。 (誤)島高明→(正)鍋島高明 (誤)沢田信義→(正)澤村信義

寄付金(1ロ 5,000円)のお振り込みは 下記銀行口座へ みずほ銀行 久米川支店

普通預金 1876557 早稲田大学東村山稲門会

※郵便振替口座へ振り込まれても結構です。(「寄付」と明記してください。)

基金担当 井垣